

## 日本経営工学会関西支部 平成21年度 第1回運営委員会議事録

日時：平成21年6月13日(土) 16:30～16:40

場所：ダイキン情報システム株式会社 会議室

参加者：19名

### 1. 運営委員会開催予定 (長沢 氏)

平成21年 6月13日(土)	第1回 運営委員会	(平成21年度 総会 開催日)
平成21年 9月12日(土)	第2回 運営委員会	(第1回 事例研究会 開催日)
平成21年10月24日(土)	第3回 運営委員会	(第1回 定例セミナー開催日)
平成21年12月12日(土)	第4回 運営委員会	(第2回 事例研究会 開催日)
平成22年 2月27日(土)	第5回 運営委員会	(第2回 定例セミナー開催日)
平成22年 4月10日(土)	第6回 運営委員会	(第3回 事例研究会 開催日)
平成22年 6月12日(土)	第7回 運営委員会	(平成22年度 総会 開催日)

### 2. その他

以下の件について、支部総会で報告、アナウンスされた。

1. 第30期(社)日本経営工学会会長に就任にあたって(代理報告：長沢 氏)  
別紙1参照(P.2)
2. 「経営工学100年周期記念国際シンポジウム」のご案内(代理報告：長沢 氏)  
別紙2参照(P.3)

関西支部長 長沢 啓行 先生  
 同 副支部長 大坂 吉文 先生  
 関西支部会員の皆様

大阪工業大学 能勢豊一

## 第 30 期 (社) 日本経営工学会会長に就任にあたって

このたびは、関西支部長の長沢先生、副支部長の大坂先生をはじめ、関西支部の皆様のご支援のもと、第 30 期会長に 5 月 17 日付で就任することになりました。皆様からのご支援に対しまして厚く御礼申し上げます。

関西支部から応援を頂きましたのにも関わらず、本日、大切な関西支部総会に欠席の無礼をいたしますことをお許しください。本日は本学会が協賛しております日本学術会議公開講演会の日程と重なってしまいました。申し訳ありませんでした。

第 30 期の理事 13 人と監事 2 人が 5 月 10 日 (日) に春季大会会場の城西大学で第 1 回目の顔合わせを行い、第 30 期理事会はスタートいたしました。第 30 期の委員会構成は従来通り、第 1 回理事会が開催されず 7 月 25 日 (土) に確定する予定です。

今期の理事会では、

### 1. 産官学の連携

産と学の関係の弱さは、賛助会員の口数に表れています。関西支部は全国 30 口のうち 5 口ですが、この関係をもっと強くする必要があります。また、官と学の関係の弱さは、FMES (経営工学関連学会協議会) の役割の変化だと思います。FMES は、元来、科研費の配分という観点から個々の学会員とのつながりを保ってきました。しかし、FMES の活動は JABEE などの大学における工学教育の品質保証や学会間の連携活動に比重を移してきております。学と学の関係はここ数年来、FMES だけでなく、横幹連合 (横断型基幹科学技術研究団体連合)、経営関連学会協議会などの新しい活動がみられるようになっていきます。

### 2. 新公益法人化に向けた健全な事務局づくり

いろんなことをやろうとしても現在の事務局は、学会事務センターが倒産して以来、春恒社に移して 3 年で、現在の国際文献社に移行してやっと 2 年を経過したばかりです。本学会ははまだ正常といえる本来の姿を取り戻していません。現在、JIMA は 2013 年に向けた公益法人化の流れに対応するためには、現在の不安定な事務局の体制を整えるだけでなく、学会運営の基幹となる定款の見直し案を本年度中に作成しなければなりません。そして、その定款変更案が、来年学会創立 60 周年を迎える春季大会の総会において可決されなければ、2013 年に新法人化を迎えられない状況となっています。

### 3. 第 30 期学会運営のビジョンと、ミッション

このような背景のもとに、第 30 期理事会が掲げるビジョン、ミッションを明らかにし、会員の皆様からは勿論、広く社会からパッションをいただける学会運営を目指したいと思っております。本学会のビジョンは、「工学と経営の融合による価値創造」という第 28 期に掲げられたキャッチフレーズがそれを示しており、今後も継続してこの方向性を堅持して行きたいと思っております。次に学会のミッションは、第 28 期が「経営を科学するビジネスをデザインする」、第 29 期が「経営工学 100 年周期」を掲げました。第 30 期の学会運営は、フレデリック・テラーによる科学的管理 100 年周期が 2011 年へ 2 年と迫っていること、さらに 2010 年 6 月 3 日には学会創立 60 周年もその前年に控えていることもあり、29 期に引き続いて「経営工学 100 年周期」を旗印に「産学」「官学」「学学」に関わる様々な連携活動を手掛けて行きたいと思っております。なかでも、JIMA 活動の外部への働きかけ、支部活動の活性化、賛助会員へのサービスの向上と産学連携強化は様々な方策を通して実施したいと思っております。

### 4. 第 30 期学会運営のアクション

シンボリックな行事として現在企画されているものを記述しますと以下のものがあり、

これらの行事を通じて本学会のさらなる発展に弾みをつけたいと思っております。

2009 年 7 月 20<sup>th</sup> ICPR (2009 年 8 月) に向けた経営工学 100 年周期事業

2009 年 11 月 JIMA 秋季研究大会 (愛知学院大学)

2009 年 12 月 第 3 回横幹コンファレンス (東北大学)

2010 年 5 月 JIMA 春季大会 (日本大学) & 日本経営工学会 60 周年記念事業

2010 年秋 JIMA 秋季研究大会 (福岡工業大学)

2011 年 5 月 JIMA 春季大会 (日本工業大学) & 経営工学 100 年周期記念事業

以上、会長就任のご報告と就任にあたっての抱負を述べさせていただきますとともに、

関西支部会員の皆様から賜りましたご支援に対しまして、略儀ながら厚く御礼申し上げます。皆様から頂戴いたしましたご支援にお応えすべく、与えられました 2 年間の会長職任期を務めさせていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、

関西支部会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

(社) 日本経営工学会「経営工学100年周期記念国際シンポジウム」企画書

平成21年5月30日/金沢工業大学 石井和克

企画趣旨:

(社) 日本経営工学会はテイラーの科学的管理法が1911年に出版されてから2010年で100年を迎えることを記念し、科学的管理法以来のマネジメント技術の100年を振り返り、今後の100年の未来創造を考えるための事業を平成20年から行なっている。その中で第1回国際シンポジウムが平成20年8月9日に「理論と実践の出会い:Academic/Industry Interaction :Where the Rubber Meets the Road」をテーマに上智大学四谷キャンパスで行われた。平成21年度は第2回目の国際シンポジウムとして、8月3日～6日に中国、上海で開催予定の第20回 ICPR と連携し、「これからのマネジメント:The Future of Management - Beyond the Scientific Management of Frederick W.Taylor」をテーマとして以下の要領にて開催する。

日時: 2009年7月30日(木)

講演会: 14:00～18:00

講演予定者、予定テーマ:

(1) CHRIS O'BRIEN

FELLOW, FORMER PRESIDENT AND CHAIRMAN OF PUBLICATIONS COMMITTEE,  
IFPR

THE HEAD OF THE BUSINESS SCHOOL AT THE UNIVERSITY OF NOTTINGHAM'S  
CHINA CAMPUS

→中国の経営工学教育

(2) PROF. AGOSTINO VILLA

POLITECNICO DI TORINO

IFPR PAST-PRESIDENT & FELLOW

→ヨーロッパにおける生産管理システム研究の産官学連携

懇談会: 18:00～19:00

会費1200円/人

会場: 常翔学園大阪センター(大阪工大) 毎日新聞3階303教室(30人定員)

大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3階(大阪駅西口から徒歩5分)

配布資料 (JIMA 英文論文誌招待論文として掲載予定)